

おはようございます。

校長先生の声届いていますか？

校長先生はこの間、6年生と一緒に志摩スペイン村や、鳥羽水族館に修学旅行へ行ってきました。そのことで、他の学年のお友達からも羨ましいなあと言う声などを聞きました。実際とても楽しい修学旅行でした。

天候にもめぐまれ、ずっと晴れていて、遊園地も水族館もすごくすいていて、ホテルも豪華で食事もおいしくて、とてもラッキーな幸運がついていたような修学旅行でした。

さて修学旅行が楽しそうとか、うらやましいなあと言う気持ちはよくわかります。が、逆に言うと普段の授業は楽しくなかったり、うらやましくないということなのではないでしょうか。もし皆さんがそう思っているとしたら、それは少し違うのかなあと思います。

どういうことかということ、修学旅行というのは決して遊びをだけをしに行っているのではなく、あくまでも学校の勉強の続きとして行っているわけです。志摩スペイン村で遊園地で遊ぶことも、鳥羽水族館でアシカショーを見ることも勉強なのです。

そう、なにも学校で机にむかっているだけが勉強ではありません。たとえば、ある班が遊園地で、どのアトラクションにいくか、班の中でもめていました。Aさんはジェットコースターがいい、Bさんはお化け屋敷がいいとみんなの意見がくいちがっていたときに、Cくんが、「なあなあここまで絶叫系が多くて、Dさんあまり楽しめていないんとちがう？」と話したのです。びっくりしました。ちゃんと、みんなのことを考えるようになって、それを実際に口に出していえるようになっていくことに。これっ

て立派な勉強ですね。何度もいいますが、机に向かって、先生の話だけをきくだけが勉強では決してありません。こんなふうに、友だちのことを思って、きちんとみんなに話ができるということのも立派な勉強なのです。

旅行の最後に写真屋さんが記念撮影をとろうとしたときにも、良い学びをみることができました。一番前の列にすきまが空いていて、後ろで立っているひと、だれか前でしゃがんでくれないかなあと、写真屋さんがいったときに、ある子がずっと前に出てしゃがんでくれたのです。前に出ることも、しゃがむこともめんどくさいと思うのですが、その子は嫌がるそぶりもみせず、自然にそんな行動をとることができたのです。これも立派な勉強です。

どうしてこんなに立派な行動を6年生はとることができたのでしょうか。それは、やはり普段の学校での勉強があったからだと思います。

ペアやグループでいつも助け合いながら勉強しているからこそ、修学旅行のときにでもずっと助け合う行動をとることができるのだと思うのです。普段、自分だけよければいいねん、自分さえ賢くなればいいねんとやっていると、決してこんな素敵な助け合い行動は出てこないと思います。

今、敷津小学校では、ペアやグループの勉強の時間をすごく増やしています。それは、こんなふうに、皆さんが大人になったときに、さっと助け合ったり、助けてと言えるようになるためなのです。ひょっとしたら、だまって先生の話聞いて、黒板を写しているだけの授業の方が楽だったという人もいるかもしれませんが、将来、学校で助け合いを学んでよかったと思えるように、ペアやグループでの学び合いを大切に勉強してください。

そして、勉強というのは、本当は楽しくておもしろいものだということもよくおぼえていてください。

最後に、今回の修学旅行は本当にいろんなことがラッキーでした。いまから思えばこれはたまたまラッキーなのではなく、6年生の行いが神様に認められたからじゃないかなあとも思います。時間通りに集合できたり、お友だちのことを思いやって行動できたり、校長先生はわずか2日間でしたが、6年生の素敵なところを一杯みることができました。6年生のみなさんがいっぱいがんばったから、いろいろラッキーがあったのではないのでしょうか。

さあ、他の学年のみなさんも6年生を見習って、ペアやグループでの勉強をがんばって、いっぱいラッキーを呼び込んでくださいね。

これで、校長先生のお話を終わります。さいごまで、静かに聞いていただきありがとうございました。

また、よかったら校長室の前のボードに、今日のお話の感想や、みなさんが将来どんなプロになりたいかをつぶやいてみてください。